

脳・神経・精神科

脳神経内科

TEL 022-717-7735(外来)

完全予約制

科長 青木 正志



診療科WEB



外来担当医表

脳は人類にとって最も大切な臓器と考えられています。脳神経内科は、この脳をはじめとして脊髄、末梢神経、筋肉などにおこる幅広い疾患を対象としています。神経学的診察法により原因となる責任病巣を特定し、各種の特殊検査や画像検査などを用いて内科的に診断し、その原因を特定して治療します。脳神経内科が担当する領域は、頭痛・めまい・しびれ・物忘れ等のよくある症状から、認知症やパーキンソン病等の神経変性疾患をはじめとする慢性疾患、そして脳炎・脳血管障害・てんかんなどの神経救急疾患まで多岐にわたります。私たちはこれらの幅広い疾患を診療し、脳神経外科やリハビリテーション科などの他診療科、高度救命救急センターや医療ネットワークを通じた各病院との診療連携を大切にしています。

外来診療は、新患外来および各種専門外来よりなり、的確な診断と治療のためMRIや脳脊髄液検査、各種血清自己抗体検査、節電図などの電気生理学的検査、筋生検による病理学的診断、MIBG心筋シンチグラフィ、遺伝子検査等を行っています。国内外の治験や医師主導治験にも取り組んでおり、セカンドオピニオン依頼を積極的に受け入れています。

主な対象疾患

筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症、パーキンソン病、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多発性硬化症、視神経脊髄炎、筋炎、筋ジストロフィー、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎、脳炎・髄膜炎、プリオン病、HTLV-1関連脊髄症、痙性対麻痺、脳血管障害(脳卒中)、認知症、てんかん、頭痛、めまい、しびれ、歩行障害